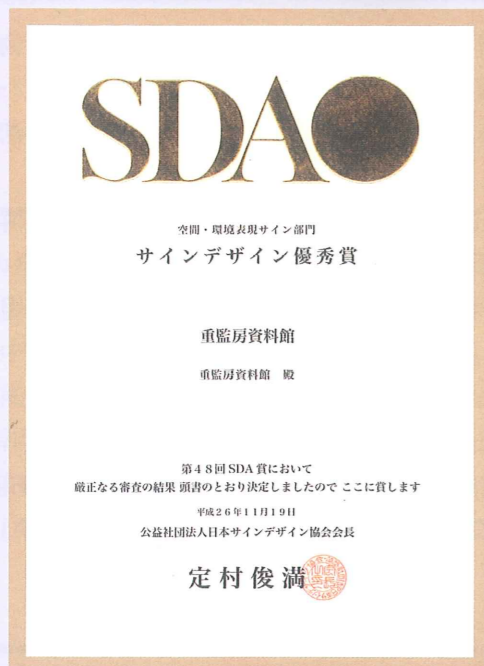


# 当館が優れたデザインに贈られる2つの賞に輝きました

SDA賞—サインデザイン優秀賞  
平成26年11月19日受賞

空間デザイン賞—空間デザイン審査員賞  
平成26年10月23日受賞



日本サインデザイン協会主催

日本空間デザイン協会主催

SDA賞は、優れたサインデザイン作品を広く社会にアピールすることにより、サインデザインの普及および啓発をはかることを目的としたわが国唯一のサインデザインに関する顕彰事業です。

空間デザイン賞は、世界最大規模の空間環境系のデザイン賞です。空間におけるコミュニケーションの創造をめざす優秀なデザインに贈られます。

## ご利用案内・アクセス

入館料…無料

※個人見学は4月26日から11月14日の期間となりますのでご承知おください。

| 区分   | フルオープン期間 (4月26日～11月14日)                | 団体専用期間 (11月15日～4月25日)             |
|------|--|-----------------------------------|
| 受付対象 | 個人及び団体                                 | 団体・学校 予約のみ                        |
| 開館時間 | 午前9時30分～午後4時00分<br>(最終入館午後3時30分)       | 午前10時00分～午後3時30分<br>(最終入館午後3時00分) |
| 休館日  | 毎週月曜日・火曜日 (祝日の場合は翌日)<br>国民の祝日の翌日、館内整理日 | 毎週土曜日・日曜日<br>国民の祝日、年末年始、館内整理日     |

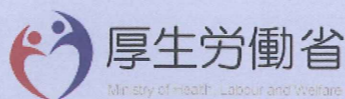


## 重監房資料館だより「くりう」第3号【季刊】

発行日：平成27年（2015年）1月1日／企画・編集・発行：重監房資料館

〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町草津白根464-1533 TEL：0279-88-1550 URL：http://sjpm.hansen-dis.jp/

重監房資料館はハンセン病をめぐる差別と偏見の解消を目指して国（厚生労働省）が設置した国立の資料館で入館は無料です。



# 重監房資料館だより



## 年 頭 所 感



厚生労働省  
健康局 疾病対策課長  
田原 克志

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

ハンセン病は発病力が弱く、また発病しても、適切な治療により、治癒する病気となっているにもかかわらず、「らい予防法」の廃止が遅れたこと等により、長年にわたり、ハンセン病の元患者や御家族の方々の尊厳を傷つけ、多くの痛みと苦しみを与えてまいりました。

その二度と繰り返してはならない過去の歴史を後世に確実に伝えていくことが重要であり、我々の責務であると認識しております。

“重監房復元、重監房跡地の保存等については、国の責任で行う”、このことは、「平成20年度ハンセン病問題対策協議会」の際に厚生労働省と統一交渉団との間で確認した事項です。それ以前にも、重監房の復元を求める10万7千人分の署名をいただいております。こうしたことが、この重監房資料館建設への後押しとなりました。

重監房資料館は、昨年4月30日に開館して以来、既に8千人にも及ぶ多くの方々にご来館いただいております。

ご来館の多くの皆様から、「展示や映像によってさらに理解が深まった。」「もっと多くの人に見に来て欲しい。」など、重監房資料館に来てよかったとのお声をいただいておりますが、一方で、資料館へのアクセスについてや「ハンセン病自体についての展示が少ない。」「隣接する栗生楽泉園や跡地などをトータル的に学べるともっと良い。」など、検討すべきご意見もいただいております。よりよい資料館とするため、そのようなお声にしっかりと対応していくことが重要であると考えています。

これからも、ハンセン病をめぐる差別と偏見の解消を目指す普及啓発の拠点として、この重監房資料館を大いに活用してまいります。また、何度も訪れていただけるような資料館となるよう、常駐スタッフとともに努力してまいります。

# 新年のごあいさつ



公益財団法人日本科学技術振興財団 専務理事 吉田 浄

あけましておめでとうございます。

「重監房資料館」は、開館2年目にはいります。「重監房」の廃止後、67年。風化し散逸していく貴重な歴史的資料を、ぎりぎりの時点で「ピン止め」することができたのは、偏に、長年にわたり設置に尽力された関係者のご熱意によるものと思います。

昨年は、開館の年ということもあって、当初予想を大幅に上回る来館者においでいただくことができましたが、今年以降は、一人でも多くのひとたちに、この資料館を見ていただき、ハンセン病についての過去の事実を知り、そこから進んで「人権」について考えていくことが期待されています。

ヒト（人類）は、他の動物とは異なり、思考力、判断力を有するがゆえに、有史以来、数々の誤り・失敗を繰り返してきました。「世界人権宣言」が国連総会で決議され、70億人の共通認識と定められてから、66年。人権にかかわる問題は、国、地域にとどまらず、社会、団体、学校、小さなコミュニティに至るまで、残念ながら、あらゆる場で、いまなお起こっています。私たちは、先人たちの失敗記録を「重監房資料館」から学ぶことにより、よりよい社会をつくっていくことを求められています。

当財団の職員は、「重監房資料館」の運営を委託された者として、また日本国民として、この施設の誠実な運用に地道な努力を続けてまいります。

# 重監房資料館運営委員会より年頭のごあいさつ

皆様、あけましておめでとうございます。お陰様で当館も昨年4月のオープン以来初めてのお正月を迎えることができました。この間、多くのご来館者の見学や人権学習等にご利用頂きました。これもひとえに皆様方のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げますとともに、本年も引き続きご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



運営委員長  
草津町長  
黒岩 信忠



副委員長  
草津町愛町部  
福祉課長  
荒木 彰彦



運営委員  
栗生楽泉園  
入所者自治会長  
藤田 三四郎



運営委員  
群馬県健康福祉部  
保健予防課長  
津久井 智



運営委員  
新潟大学大学院  
保健学研究科教授  
宮坂 道夫



運営委員  
ともに生きる会  
会長  
羽部 光男



運営委員  
新前橋法律事務所  
弁護士  
鈴木 克昌



運営委員  
鮎京法律事務所  
弁護士  
鮎京 眞知子



運営委員  
国立ハンセン病資料館  
学芸部長  
黒尾 和久



運営委員  
重監房資料館  
主任学芸員  
北原 誠

# 平成 26 年中に行った展示以外の主な活動

## ・第62回全国博物館大会参加報告

昨年11月19日から21日にかけて三重県総合文化センターで開催された、第62回全国博物館大会（日本博物館協会主催）に当館も参加しました。「多様化する博物館—対話と連携で未来を探る—」をメインテーマとして、講演、フォーラム、シンポジウムなど、現在の博物館を取り巻く環境について、3日間にわたり全国の博物館関係者約500人が参加して協議されました。

鈴木英敬三重県知事の「何回も通う中で、それぞれの人生の節目として大切なものを見つけられるような博物館施設をつくってほしい」という言葉に始まり、フォーラムでは海外の学芸員との直接交流や、新しい博物館協議会の立上げ、動物館・水族館の生物資料展示特有の問題、来館者数に捉われない評価基準の提言などの最近の博物館の取組みや諸問題について、また、シンポジウムにおいては大会テーマである「対話」と「連携」を意識した美術館活動例や、まちかど博物館、まちじゅう博物館といった従来の形態にとらわれない博物館実践例の報告について、さらには当館が観光地である草津に立地することから期待した「観光・まちづくりと博物館」の分科会での観光地博物館の成功例報告など、様々な視点からの博物館の考察、検証に接することができました。開館初年度の今年は、日本博物館協会への加盟に続き、地域の博物館団体へ参加手続きも進めておりますが、今後もこのような博物館状況を討議、考える機会を活用し、随時、報告してまいりたいと思います。

## ・その他の学芸活動報告

- ・「知恵を集めましょう、より良いハンセン病対策の構築に向けて！」をメインテーマとした第87回日本ハンセン病学会が昨年9月29日と30日に埼玉県所沢市で開催され、一般演題の中で「特別病室（重監房）の検証と伝世の重要性について」と題して重監房資料館開設の意義を口演しました。
- ・また、ハンセン病問題の普及啓発活動の一環として、昨年10月11日に国立高崎総合医療センターで開催された国臨協関信支部群馬地区会において出張講演を行いました。
- ・特別病室跡地の保全について、昨年4月のオープン以来随時検討を重ねてまいりましたが、10月より見学者用すりとウッドデッキの整備を進めています。また、遺構の風化を防ぐための保全作業も準備段階に入り、1周年となる4月下旬の一般公開を目指して鋭意努力しています。

## お客様の声（来館者アンケートより抜粋）

- ◎温泉だけでなく、草津の違う歴史も知りたいと思って寄ってみた。来て良かった。（高崎市 40代 男性）
- ◎入館無料というのに、これだけ多くの資料・映像・設備にとっても驚きました。（桐生市 40代 女性）
- ◎この歴史を二度と繰り返さないために、子供と一緒に学べて良かったです。（京都府 40代 男性）
- ◎回復者の方にも話を聞きたい。（東京都 20代 不詳）
- ◎温泉地、草津にこのような歴史をもったところがあったとはおどろきでした。（東京都 60代 男性）
- ◎このようなものを作り出した原因の一つに「市民の無知と偏見による。」という言葉が胸をえぐります。（埼玉県 60代 女性）
- ◎息が詰まった。長年非道な扱いを受け、この世を去った人達のことを思うと辛い。（奈良県 70代 男性）
- ◎証言映像がそれぞれ長時間で見られなかったことが残念です。（神奈川県 30代 女性）
- ◎個人も予約なしに通年見学できたり、書籍を購入できれば良いと思います。（埼玉県 60代 男性）
- ◎レクチャー室で上映されたものをDVDにして人権学習に利用出来るようにして下さい。（大分県 50代 女性）

【この他にも、多くの皆様からご感想をお寄せ頂きました。有難うございました。】